



じかいわごう

「持戒和合」♡むつみあう心を育てる♡

約束を守ることは社会生活の第一歩であり、それをもとにして集団の秩序が保たれます。子どもたちにとって園生活は社会生活の第一歩。約束を守って楽しく遊びましょう。

あたたかい日差しに誘われるように花が咲き、園庭で遊ぶ子どもたちに笑いかけているかのようです。

クラスから聞こえていた泣き声はいつの間にか「はいはい」と手を振り、「いってきまーす」という元気な声に変わり、園全体が少しずつ落ち着いてきています。

「せっかく慣れたところなのに」と連休明けの保育を心配されがちですが、子どもは安心できる場所や先生、友だちがいと自然と遊び始めます。

どうぞ安心して送り出してあげてください。

♡4がつの誕生日会♡

5名の子どものお祝いをしました。自分で自己紹介したり、大きくなったらなりたいものを発表してくれました。また、誕生日の子たちはサッカーやバスケットを頑張っていること、絵を描くのが上手なこと、面白い遊びを見つけて遊べること、お話が好きでいろんな話をしてくれること、トイレトレーニングを頑張っていることなどを先生にたくさん褒めてもらい、大好きな友だちから冠をもらいとっても嬉しそうでした。



お楽しみは子どもたちの大好きな絵本の『おべんとう』バスの劇でした。お弁当の中に入っていたら嬉しいおかずにした先生たちの登場に大喜びの子どもたちでした。

お茶で水分補給をしよう

人間の身体の60~70パーセントは水分です。小さい子どもほど水分の割合が増えて、80パーセント近くが水分です。この水分は血液や細胞の間に入っている体液として蓄えられ、上りすぎた体温を下げる為、汗をかいて皮膚から熱を奪って身体を冷やしたり、体の中の不要な物質をおしっこや汗として身体の外へ出すなど大切な役割をしています。このためには体液がいつも一定の量、濃度になっていることが必要で、おしっこや汗で失われた水分を補う水分補給が必要です。園では、家庭から水筒を持たせて頂き、自分のお茶の飲みたい時に飲むことができるようにして、十分な水分補給を行います。毎日のことで大変とは思いますが、子どもの健康を守るためにご協力をお願いします。

ばら・ちゅうりっぷ・きく組さん

5月6日

から水筒を持ってきましょう。

●中身は麦茶・番茶

●氷はいれません

- 散歩に持っていく為、肩紐のあるもの
- 気温に応じて量の調節をしましょう。
- 蓋の開閉の仕方を教えましょう。
- 見えるところに名前をかきましょう。

※すみれ・ゆり組は園で準備し、適切に水分補給を行います。

水分補給のポイント

- 寝る前○起きてから
- 運動の前後○食事のあと
- 入浴の前後○遊びの途中

こんな時は水分が足りていないかも…

- おしっこの回数が減っている
- たくさん泣いた
- たくさん汗をかいた
- グズグズなんだか不機嫌

注意したい飲み物

- ミネラルウォーター…乳幼児の場合、硬度の高いものを飲むと硬水のミネラル分をおしっこで外に出そうとします。その結果、水分もミネラルも出してしまう水分補給になりません。腎臓に負担もかかります。
- ジュース…糖分の取りすぎはご飯が食べずらくなり成長に必要な栄養が十分にとれません。その障害は、肥満や糖尿病、虫歯だけでなく、カルシウムやビタミンの不足による精神への影響も危惧されています。また濃い甘い味に慣れると、お茶や水が飲みにくく感じてしまうようになります。

5月5日「子どもの日」

昔は、男の子のお祝いの日でしたが、今は男女を問わず「子どもたちが健康で元気に成長しますように」と願い、お祝いする日とされています。

子どもたちが作った「クラスこいのぼり」。わが子の作品を探しながら子どもが「見たいー」というと抱っこをして親子で一緒に見ている姿がありました。今は「屋根より高〜い、こいのぼり♪」を見ることが少なくなりましたね。みんなで作ったこいのぼりに子どもたちの成長を願いたいと思います。

